

平成29年度上半期 LSW A「地域活動拠点・広報」班活動報告

平成29年10月10日

メンバー20名

リーダー

小川 卓也(小規模・GHいやんせ)

世話人

岡元 健二(ディサービスかたろう家)

瀬戸川 るみ子(GH陽だまり日輪荘)

和田 るり子(おあしす福山)

福留 佐久子(小規模ひまわり)

柿木田 栄子(GH福山の里)

杳田 真美(認知症対応型通所介護ひだまり)

野崎 慎也(小規模ふもとの家)

中島 洋子(国分地域福祉事業所ほのぼの)

岩下 由紀子(GHゆめ)

サブリーダー

竹下 智行(小規模・GHみどりの風)

藤垣 秀一郎(翔朋園ディサービス)

榊 梨香(ディサービス霧島みどりのお家)

上菌 妙子(始良地区医師会居宅)

谷口 琢(国分中央病院居宅)

今古川 宏幸(霧島リハウオーク絆)

栗田 芽衣(訪問介護センター アルク)

池田 祥子(介護付有料老人ホーム はな)

山之口 勝也(おあしす国分)

村岡 宏章(GH「ゆうゆう」)

目的

地域の拠点施設としての役割を果たせるように、事業所、スタッフの質の向上を図り、体制づくりを進め、地域の方々に認知して頂く。誰もが暮らしやすいまちになるためのイベントの企画、開催をする。

活動内容

- ① しあわせ物産館の企画、開催
- ② 地域のひろば推進事業の実施支援
- ③ まちかど介護相談所の機能強化及び周知、広報

① しあわせ物産館の企画、開催

- 介護福祉業界だけでなく、霧島市の様々な業種の方々と作る催し物を計画したい。
- 植山さんという車椅子で生活されているながら、誰もが住みやすい地域作りを実践されている方との出会いがあり、皆で未来の地域福祉を考えられる企画にしたい。
- ネーミングは福祉的な要素が入った人の集まりとしての「福祉物産館」の案から「福祉」⇒「しあわせ」 物産館⇒○
「しあわせ物産館」となりました。

第1回 しあわせ物産館

平成29年3月12日(日) 10:00～13:00

場所:霧島市役所前広場

催し内容

- ストリードダンス・車椅子バスケット
- 地域の未来トーク
- カッコイイ未来の車椅子スケッチ展示:表彰式
- 福祉車両展示・未来の車椅子試乗会

出店

• 卵のつかみ取り・マス釣り・手作りピザ・ポップコーン・ラーメン・挽きたてコーヒー・綿あめ・ニュースポーツ等...



ご協力頂いた方々

霧島市・第一工業大学・霧島商工会議所青年部・南九州ケーブルテレビネット株式会社・株式会社FMきりしま・その他..

第1回を終えての反省点

良かった点

- 短期間(約三ヶ月)で内容も充実し、やり切れた事が良かった。(連合会としての連携)
- 当日たくさん笑顔が見られてた。参加者も約700名を超えた。
- 他業種の方と連携をする事ができ可能性を広げられた。
- 障害を持って生活されている方の生の声を聞くことができ、参加者皆でこれからの地域福祉について考える催しになった。
- 大きな事故等なく無事に終わることができた。

悪かった点

- 準備期間が少なかった。(無理をしなければならぬ事もあった)
- 当日参加された障害を持たれている方から厳しい言葉を頂いた。

継続して考える点

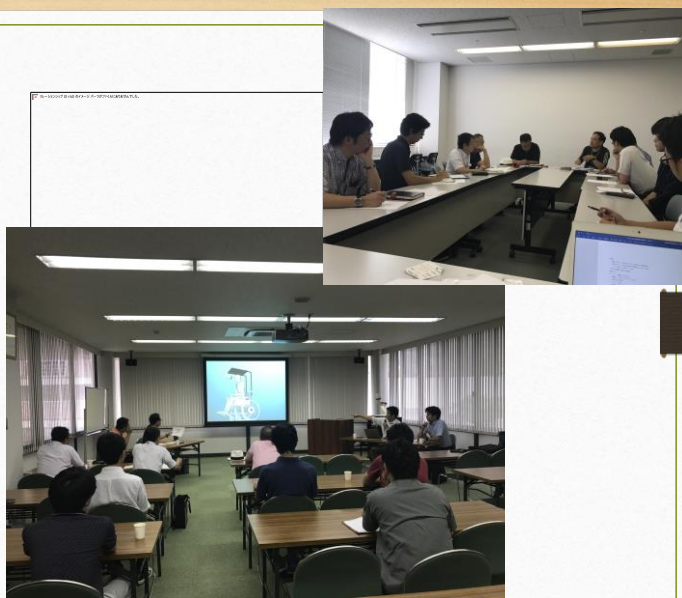
- 未来の車椅子を実現するには
- 今後のしあわせ物産館の方向性
- 開催場所の変更はあるのか

第2回しあわせ物産館 実行委員会

開催日:4/27(木)・7/25(火)
9/8(金)

実行委員会での課題

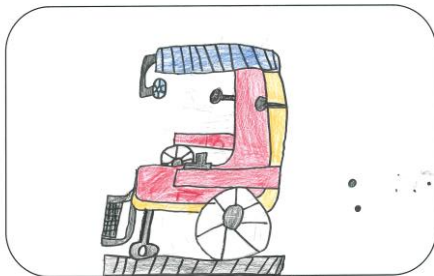
- 未来の車椅子の方向性(経費も含め)
- 今回第2回のコンセプト



未来の車椅子実現にむけてどう動くか

- | | |
|--|--|
| <p>車椅子の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> • (濱田土輝君)のデザイン通りに作成するのか？ • 濱田君にもう一度話を聞いてはどうか？ • 機能性を考えると1年後に再現するのは現実的に難しいのでは？ • 他業種の方々に協力依頼をしてはどうか？ | <p>車椅子作成の経費</p> <ul style="list-style-type: none"> • 第一工大の先生方に作成を依頼しているが作成経費がない • 霧島市の各企業に協賛金を依頼するのはどうか？ • 霧島市企業の一覧表はあるのか？ |
|--|--|

未来の車椅子スケッチ 市長賞 牧之原小学校 濱田 土輝君



学校名/牧之原小学校 名前/濱田土輝君

【私の想い】

○題名は輝きです。速さをちょうせつできて、かいだん、でこぼこ道も自由にいける。たおしたらねることもでき、冬は、だんぼう、夏はせんぶうきがついてすずしくなっていて、日があたらぬようにかげもついています。あしがわるくても、海や川にも行けてべんりですよ。そして全部がおりたたみできるよになっっています。ソーラーパネルでためることもできます。どんなスポーツもできます。とてもかろくて、もちほこびがらくです。高さもちょうせつできます。かたたきもあります。あたまでかんがえたことをなんでもします。色は自由にえらべます。

濱田 土輝君 インタビュー H29.8.25

【スケッチを描いた思い】

熱中症にならないように屋根をつけて、扇風機をつけました。喋ることもできない人もあるので、その思いが分かるように思い通りに動ける装置も付けたかった。

【車椅子に対するこだわり】

形にはこだわっていない。乗る人の乗り心地、乗りやすさを一番に考えたい。どんな風にすれば楽に乗ってもらえるかを考えて書いた。体が不自由なだけで差別される人もいるから

【今後の進め方】

自分の意見ばかり反映されるのではなく、自分よりいい意見があったと思うので、そこを取り入れて欲しい。GPSはつけてほしい。今すぐではなく、いつか夢の車椅子ができるように多くの人の意見を貰って試乗を繰り返しながら改良して行ってほしい。

昔と違って戦争もなく色々な人の意見がもらえると思うから高齢者に限らず、障害のある人、健常者の人にも乗って欲しい。世界が平利になってほしい。



濱田君インタビューから見えてきたこと

- スケッチ通りに作って欲しいのではなく使用される方の事を思い、画いてくれていた。
- 形や機能にこだわることなく、約900作品のいい意見も取り入れる
- 時間がかかっても実用的な車椅子を作ること
- 霧島市には、他者の事を真剣に思える小学生がたくさんいる
- どのような子育てをしたら、このような子が育てられるかご両親にも話を聞きたい。

他業種との協力

•ソーラー:「太陽光発電のやまと」⇒シート状の太陽光

•車椅子のデザイン加工提案(FRP・カーボン):バンショップミカミ

•車椅子の提供:三井メディックス

•高級リクライニングシート(マークx):黒木自動車 ※モーターも依頼中



必要物品リスト

1. 車いす (リクライニング付)
2. 車いす用電動ユニット
3. ソーラーパネル
4. バッテリーユニット (太陽電池からの充電機能内蔵)
5. ソーラーパネルステア
6. 電動ファン
7. 電動ファンステア
8. シートマッサージャー

※ 1, 2 は電動車いすを使う場合には不要

未来の車椅子実現にむけての協賛金集め

【目的】

- 車椅子実現に向けての資金を集めるうえで色んな資源と繋がるきっかけ作りになる。また、連合会の取り組みを知って頂く
- 目標金額/30万円 一口3,000円
- 期間:10/10~11/30
- 方法/訪問

F班にも協力を頂き目的を達成できるように頑張ります。

※ 連合会広報誌(創刊号)が完成しました。タイトルはTUNAGARI ! に決定

② 地域のひろば推進事業の実施支援

○班会議での検討

コーディネイター(霧島市社会福祉協議会)に参加して頂き、LSWとしての役割の確認や課題の解決に向けて討議をしています。

○検討内容

- ・地域のひろば推進事業の申請方法について
- ・住民主体のサロン活動にするためには
- ・交通まちづくりトークに参加して(住民の移動手段について)

○今後について

- ・A班メンバーがLSWの相談窓口として一緒に地域づくりを考えます。

よいやんせ 小川まで連絡をお待ちしております！

③ まちかど介護相談所の機能強化及び周知、広報

○相談を受ける側の意識やスキルをアップさせるためには？

- ・高齢者介護相談だけではなく、障害者、母子、ひきこもり、などあらゆる相談に対応できるように研修を開催する。

→11月より開催予定の「障害者福祉基礎研修」への参加

○地域の方々に認知して頂くためには？

- ・相談所の機能を掲げたパンフレットの作成
- ・地域包括支援センターと一緒にセミナーを開催する(実践事例報告)
- ・出張相談会を行う(地域のひろばへ出向いて開催する)

ご清聴ありがとうございました。
